

平成27年度 第1回新潟労働局公共調達監視委員会の審議概要について

第1回新潟労働局公共調達監視委員会が、平成27年7月15日に開催されましたので、審議概要についてお知らせします。

(参考)新潟労働局公共調達監視委員会は、「随意契約の適正化の一層の推進について」(平成19年11月2日公共調達の適正化に関する関係省庁連絡会議)の趣旨を踏まえ、工事及び物品・役務等の競争入札案件並びに随意契約案件を第三者機関において審議することにより、新潟労働局が締結する契約が適正に行われるよう監視するため、平成19年12月25日に設置されたものです。

[審議日程等]

〈日 時〉	平成27年7月15日 13:30～	
〈会 場〉	新潟労働局 3階第2小会議室・審査室	
〈委 員〉	委員長 小林 大造	小林経理事務所(公認会計士)
	委員 村山 六郎	村山六郎法律事務所(弁護士)
	委員 佐々木桐子	新潟国際情報大学情報文化学部(大学准教授)
〈事務局〉	新潟労働局総務部総務課	
〈審査対象期間〉	平成26年12月1日～27年3月31日契約締結分	

[審議概要]

1 委員長選出

委員互選により、小林委員を監視委員会委員長に選出する。

2 審 議

(1) 審議案件の概要について説明

平成26年12月1日から27年3月31日までの期間において契約した案件のうち、予定価格から審議対象となるものは物品・役務等の6件であり、競争契約によるもの5件、随意契約によるもの1件であった。本日の監視委員会では、この6件全部について審議をお願いしたい。

(2) 審議案件6件について説明

(事務局) はじめに審議対象案件6件について一括して説明を行い、その後に質疑・意見等を受ける形で進めたい。

なお、平成27年6月17日に開催した第1回新潟労働局公共調達審査会においても、同様の6件全部を審議対象として審議が行われたが、不適正と判断されたものはなかった。

(委員長) 了解した。

(3) 主な審議内容等

【競争入札】

①「各労働基準監督署及び各公共職業安定所で使用する各種備品等の購入契約」について

「窓口情報システム機器入替購入(新潟公共職業安定所及び新津公共職業安定所)について

(委 員) 入札予定価格が高いように思われるが積算方法はどのように行ったのか。割引率を決めて算出できないか。

(事務局) 同一備品の大量購入でないため各備品ごとにインターネットによる価格調査及び過去の入札金額を勘案し、予定価格を算出しており不適正なものでなかったと考えております。

②デジタル複合機購入(交換契約)について

(委員) 入札額が1円となっている。今後の保守管理料を見込んで入札したと思われるので保守管理料も考慮して入札するべきではないか。

(事務局) 保守管理料は別契約で改めて入札を行うため機器の予定価格に保守管理料は考慮していません。しかし、実際の契約は機器の購入業者が落札することが多く、高い確率で保守点検料が見込めるためでしょうか、どうしてもこういう傾向がなくなるか。
今後同様な契約が予定された場合は、保守管理料を考慮した入札方法に変更をできるか検討します。

③「平成26年度新潟労働局管内の行政文書廃棄処理業務委託(単価契約)について

(委員) 入札金額に著しい差があるがどうしてか。

(事務局) 自社工場で破碎処理と大型車(破碎処理機能付き)で現場で処理する違いがあるためと思われます。
いずれも廃棄方法は、「破碎」で、仕様書でも破碎・溶解ともによりこととされている。落札業者は回収から廃棄処分まで自社で行っており履行には問題がないと思われます。

3 審議結果

今回の審議案件については問題なしと考える。

4 その他

次回の監視委員会は、10月中旬頃の開催を予定しています。